

2023年度日本学国際共同大学院プログラム授業科目一覧

科目群	授業科目名	R5担当予定教員 (代表者名)	開講部局	開講種別 (BC/MC/DC)	単 位 数	R5年度 学域等 種別	開講頻度 (毎年/隔 年)	開講言語 (日・英等)	備考
基盤科目	日本学メソドロジー-基盤A	尾崎彰宏		MC	2	メソ基盤A	毎年	日	後期月曜日・1講時
	日本学メソドロジー-基盤B	佐藤弘夫		MC	2	メソ基盤B	毎年	日	前期月曜日・1講時
実践科目	日本学メソドロジー-実践	オムニバス(尾崎彰宏他)		DC	2	メソ実践	毎年	日	前期火曜日・1講時
学域科目	東洋史概論	大野晃嗣	文学	BC	2	表象	毎年	日	
	現代日本学芸分析特論Ⅰ	茂木謙之介	文学	MC・DC	2	表象	毎年	日	
	東洋日本美術史特論Ⅰ	長岡龍作	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	東洋日本美術史特論Ⅳ	長岡龍作	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	日本近世・近代史特論Ⅱ	安達宏昭	文学	MC・DC	2	表象	毎年	日	前期水曜日・2講時
	日本史演習	安達宏昭	文学	BC	2	表象	毎年	日	前期・後期・水曜日・3講時
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	足達薫	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	足達薫	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	美学研究演習Ⅰ	ロレンゾ・オマリヌッチ	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	美学特論Ⅰ	ロレンゾ・オマリヌッチ	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	文化人類学研究演習Ⅰ	越智郁乃	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	文化人類学研究演習Ⅱ	川口幸大	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	文化人類学特論	エマニュエル・ガングロフ	文学	MC・DC	2	表象	毎年	英	後期集中 2月中旬～下旬を予定
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	杉本欣久	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	東洋・日本美術史特論Ⅴ	杉本欣久	文学	MC	2	表象	毎年	日	
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	コビ・ローヴァ・オーガ	文学	MC	2	表象	毎年	英・日	
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	コビ・ローヴァ・オーガ	文学	MC	2	表象	毎年	英・日	
	人間形成論研究演習Ⅰ	李仁子	教育	MC	2	表象	隔年	日	
	多文化比較思想論Ⅰ	佐藤透	国際文化	MC	2	表象	隔年	日	
	比較社会文化論Ⅰ	佐野正人	国際文化	MC	2	表象	隔年	日	
	日本宗教史Ⅰ	クラウチアリオン	国際文化	MC	2	表象	隔年	日	前期課程向けの科目ですが、後期課程の学生も受講できます。
	近代日本思想論Ⅰ	ゴダール・クリントン	国際文化	MC	2	表象	隔年	日・英	前期課程向けの科目ですが、後期課程の学生も受講できます。
	言語科学概論(日本語)	オムニバス(鄭他)	国際文化	MC	2	表象	毎年	日	
	日本文化基層論Ⅰ	非常勤講師(柳原恵)	国際文化	MC	2	表象	隔年	日	
	中近世日本思想論Ⅰ	非常勤講師(大澤詢子)	国際文化	MC	2	表象	隔年	日	前期課程向けの科目ですが、後期課程の学生も受講できます。
	言語科学概論(英語)	ジ・スクマシュー	国際文化	MC	2	表象	毎年	英	2023年度より追加
	日本語史Ⅰ	ジ・スクマシュー	国際文化	MC	2	表象	隔年	英	
	内陸アジア地域史論	岡洋樹	環境	MC	2	表象	毎年	日	
	宗教学概論	木村敏明	文学	BC	2	共感	毎年	日	
	宗教学特論Ⅰ	木村敏明	文学	MC	2	共感	毎年	日	
	理論言語学特論Ⅰ	小泉政利	文学	MC	2	共感	毎年	日	
	学習・言語心理学特論Ⅰ	木山幸子	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	実験言語学特論Ⅰ	木山幸子	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	言語学概論Ⅱ	木山幸子	文学	BC	2	共感	毎年	日	
	日本語変異論研究演習Ⅱ	大木一夫	文学	MC	2	共感	毎年	日	
	日本語構造論特論Ⅰ	大木一夫	文学	MC	2	共感	毎年	日	
	日本語学概論	大木一夫	文学	BC	2	共感	毎年	日	
	現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ	クレイグ・クリスティー	文学	MC	2	共感	毎年	日・英	
	日本比較思想史特論Ⅰ	片岡龍	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	日本比較思想史特論Ⅱ	片岡龍	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	日本文化思想史特論Ⅰ	片岡龍	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	日本文化思想史特論Ⅱ	片岡龍	文学	MC・DC	2	共感	毎年	日	
	日本思想史概論	片岡龍	文学	BC	2	共感	毎年	日	
	日本思想史基礎講読	片岡龍	文学	BC	2	共感	毎年	日	
	研究倫理特論	原 聖	文学	MC	2	共感	毎年	日	オムニバス形式
	フランス文学研究演習Ⅲ	黒岩卓	文学	MC	2	共感	毎年	日	
	フランス文学研究演習Ⅳ	黒岩卓	文学	MC	2	共感	毎年	日	
比較教育学特論Ⅱ	井本佳宏	教育	MC	2	共感	隔年	日	前期課程向けの科目ですが、後期課程の学生も受講できます。	
教育行政学特論Ⅱ	後藤武俊	教育	MC	2	共感	毎年	日		
法理学演習Ⅰ	樺島博志	法学	MC	2	共感	毎年	日		
法理学演習Ⅱ	樺島博志	法学	MC	2	共感	毎年	日		
日本法制史演習Ⅰ	坂本忠久	法学	MC	2	共感	毎年	日		
日本法制史演習Ⅱ	坂本忠久	法学	MC	2	共感	毎年	日		
中国政治演習Ⅰ	阿南友亮	法学	MC	2	共感	毎年	日		
中国政治演習Ⅱ	阿南友亮	法学	MC	2	共感	毎年	英		
アジア政治経済論演習Ⅰ	岡部恭宜	法学	MC	2	共感	毎年	日		
アジア政治経済論演習Ⅱ	岡部恭宜	法学	MC	2	共感	毎年	日		
日本政治外交史演習Ⅰ	伏見岳人	法学	MC	2	共感	毎年	日・英		
日本政治外交史演習Ⅱ	伏見岳人	法学	MC	2	共感	毎年	日・英		
日本研究基礎論Ⅰ	非常勤講師(近藤俊太郎)	国際文化	MC	2	共感	隔年	日	前期課程向けの科目ですが、後期課程の学生も受講できます。	
認知言語学Ⅰ	上原聡	国際文化	MC	2	共感	隔年	英		
語用論Ⅰ	中本武志	国際文化	MC	2	共感	隔年	英		
日本語解析論Ⅰ	非常勤講師(副島健作)	国際文化	MC	2	共感	隔年	日		
成人教育概論	松本大	教育	MC	2	共感	毎年	日		
成人教育特論	松本大	教育	MC	2	共感	毎年	日		
国際教育開発論概論	劉靖	教育	MC	2	共感	隔年	英		
国際教育開発論特論	劉靖	教育	MC	2	共感	隔年	英		
多文化教育論概論	渡部由紀	教育	MC	2	共感	毎年	日		
多文化教育論特論	高橋美能	教育	MC	2	共感	毎年	日		

科目群	授業科目名	R5担当予定教員 (代表者名)	開講部局	開講種別 (BC/MC/DC)	単 位 数	R5年度 学域等 種別	開講頻度 (毎年/隔 年)	開講言語 (日・英等)	備考
	数理行動科学研究演Ⅰ	浜田宏	文学	MC	2	資本	毎年	日	
	数理行動科学研究演Ⅱ	浜田宏	文学	MC	2	資本	毎年	日	
	実験心理学特論	阿部恒之	文学	MC	2	資本	毎年	日	
	現代日本学歴史分析特論Ⅰ	クレイグ クリストファー	文学	MC	2	資本	毎年	日・英	
	教育アセスメント特論Ⅰ	有本昌弘	教育	MC	2	資本	毎年	日・英	
	人間形成論特論Ⅰ	李仁子	教育	MC	2	資本	隔年	日	
	行政学演習Ⅰ	西岡晋	法学	MC	2	資本	毎年	日	
	行政学演習Ⅱ	西岡晋	法学	MC	2	資本	毎年	日	
	地域計画特論	増田聡	経済	MC	2	資本	隔年	日	
	経営史特論	結城武延	経済	MC	2	資本	毎年	日	
	経済史特論	菅原歩	経済	MC	2	資本	毎年	日	
	経済学史特論	古谷豊	経済	MC	2	資本	毎年	英	
	戦略と組織特論	山崎喜代宏	経済	MC	2	資本	毎年	日	
	財政特論	佐々木伯朗	経済	MC	2	資本	隔年	英	隔年で英語開講
	国際経営特論	金照珍	経済	MC	2	資本	隔年	英	隔年で英語開講
	加齢経済特論	吉田浩	経済	MC	2	資本	隔年	日	
	言語文化論Ⅰ	江藤裕之	国際文化	MC	2	資本	隔年	英	
	現代日本社会論Ⅰ	妙木忍	国際文化	MC	2	資本	隔年	日	
	神経言語学Ⅰ	ジョン ヒョンジョン	国際文化	MC	2	資本	隔年	日	2023年度より追加
コミュニケーション科目	日本学研究のための英語演習	クレイグ クリストファー	文学	MC・DC	2		毎年	英	後期火曜日・4講時 (文学研究科授業科目名：英語発表技能演習)
海外連携教育科目	日本学特別講義Ⅰ・Ⅱ	ヘリック ボグタン		MC・DC	2※			英	前期集中。6/13初回授業予定。 詳細は決まり次第通知
	日本学特別講義Ⅰ・Ⅱ			MC・DC				英	詳細は決まり次第通知

※海外連携教育科目については、提供する複数科目のうち2科目を履修すること。

#### 博士後期課程への進級要件

- ① 日本学メソドロジー基盤A、日本学メソドロジー基盤Bをそれぞれ2単位修得すること。
- ② 日本学学域基盤科目のうち、自分の学域以外から4単位以上を修得すること。
- ③ コミュニケーション科目のうち指定された授業科目を2単位修得すること。
- ④ 日本学特別講義Ⅰを2単位修得すること。
- ⑤ 本プログラムが実施する博士資格第一次審査（Qualifying Examination 1：QE1）に合格すること。

#### プログラム修了要件

- ① 日本学メソドロジー実践を2単位修得すること。
- ② 日本学学域実践科目のうち、自分の学域以外から4単位以上を修得すること。
- ③ コミュニケーション科目のうち指定された授業科目を2単位修得すること。
- ④ 日本学国際研修を4単位修得すること。
- ⑤ 日本学特別講義Ⅱを2単位修得すること。
- ⑥ 本プログラムが実施する博士資格第二次審査（Qualifying Examination 2：QE2）に合格すること。
- ⑦ 必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し学位プログラム推進機構国際共同大学院プログラムが実施する国際共同大学院プログラム学位審査および最終試験に合格すること。